

葉の花

伊豆の国市立長岡北小学校

Tel 055-948-1062

学校だより 27/8/28 27号

平成27年度学校教育目標
重点目標

「心ゆたかに たくましく」
「めあてに向かって 挑戦する子」



2学期スタート

33日間の夏休みが終わり、8月27日（木）に第2学期がスタートしました。夏休み中に事故等もなく、160名全員がそろって2学期がスタートできたことはとてもよかったと思います。

始業式での校長先生のお話を紹介します。

皆さんおはようございます。

33日間の夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。この夏休みの間、皆さんが事故や大きなけがもなく、全員が元気な姿で今日の始業式を迎えられたことを大変うれしく思います。

8月16日はPTAの奉仕作業がありました。とても暑い日でしたが、みんなのお父さんお母さんがたくさん集まってくれて、普段きれいにできないところまで一生懸命に作業をしてくれました。その気持ちに添えて、今度はみんなが勉強や運動に頑張れば、お父さん、お母さんもきつとうれしいと思います。

勉強と言えば、みんなもテレビやニュースで知っている人もいますが、毎年、6年生が取り組んでいる全国学力学習状況調査の結果が届きました。6年生の頑張りは、素晴らしく、どの教科も全国、県平均を上回る結果でした。

皆さんは、夏休みどんな思い出がありますか。

海に泳ぎに行った。家族で旅行に行った。おじいちゃんやおばあちゃんの家遊びに行った。などたくさん思い出を作ったのではないのでしょうか。

さて、先週の日曜日テレビを見ていて感心したことがあったのでお話ししたいと思います。日本テレビで24時間テレビというのをやっていました。毎年やっているのを見た人も多いかと思います。わたしはあまり見ないのですが、日曜の夜、夕飯を食べたあと先生の子どもが24時間テレビを見ていたので、一緒に見ていると、山田倫太郎君という13歳の男の子がテレビに登場していました。倫太郎君は生まれた時から心臓の病気をもっていて、危険な手術を数回も受け、今でも酸素吸入器がないと生きていけないという、とても大変な生活を送っています。今も入院を繰り返して友達と勉強するのも午前中だけということですから、きつとつらかったりさみしかったりすることも多くあると思います。わたしだったら、何で自分だけこんなふうになられたんだと誰かを恨んだりしたかもしれません。でも、倫太郎君はそんな文句も言わずに、家でも学校でもとても明るく元気で生活をしています。しゃべりすぎて、笑いすぎて酸素吸入器の酸素が吸えなくなるよという警報音が何回も鳴るまで元気に話をするのです。それも、



中学一年生とは思えない、大人でもできないようなしつかりとした話をするのです。

わたしが一番感心したのは、番組中の倫太郎君のこんな言葉でした。
「ハンディキャップというのは、別にだれも悪い訳じゃないので」
「背の高い人もいれば、背の低い人もいる」
「悪いことじゃないし」
「かわいそうなことでもない」
「個性です」



何万分の一という確率の病気にかかりながら、障害を個性だという倫太郎君はすばらしいと思いました。

きっと倫太郎君の周りの家族や大人、友達も倫太郎君を、普通に一人の人間として思いやりの心を持って接しているのだろうと思いました。倫太郎君もすばらしいけど、倫太郎君の周りにいる人もみんなすばらしいのだろう、だから倫太郎君も幸せに暮らせるのだろうと思いました。

いじめで自殺したニュースがよく流れますが、いじめは絶対にいけないことです。倫太郎君の友達のように、自分と違う個性をもった人とも思いやりの気持ちをもって生活できれば、みんなが幸せに暮らせると思います。北小学校もそういう学校で会ってほしいと思います。



4年生の 田村涼太さんが「社会を明るくする運動ポスターコンテスト」で佳作に選ばれました。始業式の最後に全校の前で表彰を受けました。



校長先生の話の中にもありましたが、8月16日(日)の奉仕作業ありがとうございました。猛暑の中、多くの保護者の方、児童に集まってもらい、普段、できないところまできれいにさせていただけました。2学期を気持ちよくスタートさせることができました。ありがとうございました。

